

凡例

- 一、この訳注本は、『歴代寶案』校訂本第三冊 第二集卷一〜一四（沖縄県立図書館編、沖縄県教育委員会刊、一九九三年）を底本とする。
 - 一、訳注に当っては原典の文章に忠実であることをむねとする。参照すべき文献がある場合も、明白に誤字・脱字等と認められる場合にのみ校訂を施し、『歴代寶案』のオリジナルテキストとしての性格を最大限に重んじた。
- 一、訳文は次の通りとする。
- 1、各文書に簡単な見出しを付す。
 - 2、いわゆる読み下し文とする。
 - 3、現代仮名遣いを用いる。
 - 4、原文の漢字はなるべく残す。
 - 5、難読の漢字にふりがなを付す。
 - 6、異字・俗字・略字などは、原則として正字（常用漢字を含む）、あるいは通用の字体に改める。数字は簡略な表記とする（例 壹↓一、貳↓二）。同義の字は通用の字体に統一した場合がある。
 - 7、避諱や清朝の政策による文字の置き換えは、原文のままとする（夷の彝への置きかえ、華夷⇕華彝、夷官⇕彝官）。
 - 8、送りがなについては、一般的用法と異なる場合がある。
 - 9、平出・抬頭はとらない。
 - 10、適宜改行する。
 - 11、文字の大きさはほぼ原文にしたがう。
 - 12、不明箇所は、字数の判明するものについてはその字数分を□で示し、わからない場合は……で示す。
 - 13、個人の書きくせなどによる明白な誤字・誤用には特に校訂や注記をしない。

14、人名の姓または名を欠くもので、判明するものについては（ ）を付して補う。

15、年号には（ ）を付して西暦を補う。ただし月日は原文のままとし、太陽暦に置きかえない。したがって十二月末などで、西暦が実際と異なる場合がある。

16、文書の宛先・年月日記載の位置は必ずしも同一ではないが、便宜的に統一して記す。

一、注釈は次の通りとする。

1、文書ごとに、文書に続けて付す。

2、注は原則として再記しない。

3、琉球国王・中国皇帝（清代）は、在位年代、系譜などを一括して表記する。

4、注索引は各冊ごとにつける。

5、訳注全般に参照した辞書・文献は別表の通りである。これらについては個別に出典を記載しない。ただし必要な場合には、（ ）内に示した略称によって注記する。なお、個々に参照した研究書・論文等については、当該の個所に記すにとどめる。

一、訳注は神田信夫・池谷望子・高瀬恭子・土肥祐子・宮田道昭・渡辺修が担当した。

参考文献

() は本冊での略称

- 諸橋轍次著『大漢和辞典』大修館書店 一九八四年修訂版
中文大辞典編纂委員会編『中文大辞典』台北 中国文化大学出版社
一九七三年
漢語大詞典編輯委員會漢語大詞典編纂處編『漢語大詞典』漢語大詞
典出版社 一九八五年—一九四年
愛知大学中日大辞典編纂處編『中日大辞典』大修館書店 一九八六
年増訂版
井上翠著『中国語新辞典』江南書院 一九五四年
塩谷温編『新字鑑』弘道館 一九三九年
石山福治編『中国語大辞典』国書刊行会 一九七四年
劉文傑著『歴史文書用語辞典—明・清・民国部分』四川人民出版社
一九八八年
倪道善編著『明清檔案概論』四川大学出版社 一九九二年
雷榮廠・姚榮野著『清代文書綱要』四川大学出版社 一九九〇年
張我德・楊若荷・裴燕生編著『清代文書』中国人民大学出版社 一
九九六年
植田捷雄他篇『中国外交文書辞典(清末編)』一九五四年 国書刊
行会影印本 一九八五年
星斌夫編『中国社会經濟史語彙(正篇)』光文堂書店 一九六六年
星斌夫編『中国社会經濟史語彙(統編)』光文堂書店 一九七五年
星斌夫・鈴井正孝・中道邦彦編『中国社会經濟史語彙(三篇)』光
文堂書店 一九八八年

前間恭作遺稿・末松保和編纂『訓読史文 附史文輯覧』一九四二年
国書刊行会影印本 一九七五年

『六部成語註解』一九四〇年 大安影印本 一九六二年 浙江古籍
出版社標点本 一九八七年

『アジア歴史事典』平凡社 一九五九—一九六二年
『沖繩大百科事典』沖繩タイムス社 一九八三年 (『大百科』)

『沖繩県姓氏家系大辞典』角川日本姓氏歴史人物大辞典四七、角川
書店 一九九二年

譚其驥主編『中国歴史地図集 第八冊 清時期』上海 地圖出版社
一九八七年

『福建省地図冊』福建省地圖出版社 一九九〇年
臧励蘇等編『中国古今地名大辞典』商務印書館 一九三一年

青山定雄著『説史方輿紀要索引中国歴代地名要覧』一九三三年 省
心書房影印本 一九七四年

魏嵩山編『中国歴史地名大辞典』広東教育出版社 一九九五年
杜連誥・房兆楹編『三十三種清代伝記綜合引得』一九三二年 東方
学研究日本委員会影印本 一九五九年

『清史列伝』北京 中華書局点校本 一九八七年
『国朝耄献類徴(初編)』台北 文海出版社影印本 一九六六年

A. W. Hummel (ed), *Eminent Chinese of the Ching Period* (清代
名人伝略) Library of Congress, 1943~44.

錢実甫編『清代職官年表』北京 中華書局 一九八〇年
臨時台湾旧慣調査会編『清国行政法』一九〇五—一九一五年 大安影印
本 一九六五—一九六六年

- 張德次編著『清代國家機關考略』 北京 中国人民大学出版社 一九八一年
- 李鵬年等編著『清代中央國家機關概述』 北京 紫禁城出版社 一九八九年
- 劉子揚編著『清代地方官制考』 北京 紫禁城出版社 一九八八年
- 『那霸市史 資料篇第一卷四 歷代宝案第一集抄』 一九八六年
 (『市史宝案抄』)
- 『那霸市史 資料篇第一卷五 家譜資料(一)』 一九七六年(『家譜(一)』)
- 『那霸市史 資料篇第一卷六 家譜資料(二)』 一九八〇年(『家譜(二)』)
- 『那霸市史 資料篇第一卷七 家譜資料(三)』 一九八二年(『家譜(三)』)
- 『那霸市史 資料篇第一卷八 家譜資料(四)』 一九八三年(『家譜(四)』)
- 『中山世譜』 琉球史料叢書四 一九四二年 井上書房影印本 一九六二年 (『世譜』)
- 『蔡鐸本中山世譜』 沖縄県教育委員会 一九七三年
- 『中山世鑑』 琉球史料叢書五 一九四二年 井上書房影印本 一九六二年
- 球陽研究会編『球陽・原文編』 角川書店 一九七四年
- 『清代琉球国王表奏文書選録』 中国第一歴史档案館編 合肥 黄山書社出版 一九九七年
- 中央研究院歷史語言研究所編刊『明清史料』(甲—癸編) 一九三〇—
- 七五年 台北 維新書局影印本 一九七二年
- 張偉仁編『明清檔案』 中央研究院歷史語言研究所 一九八六年
- 『清実録』 北京 中華書局影印本 一九八五—八七年
- 『大清歷朝実録』 滿洲国國務院影印本 一九三七年 台北 華文書局影印本 一九六四年
- 日本史料集成編纂會編『中国・朝鮮の史籍における日本史料集成 実録之部(一)』『同、(二)』 国書刊行會 一九七六年
- 趙爾巽撰『清史稿』 北京 中華書局 標点本 一九七七年
- 国史館編『清史稿校註』 台北 国史館刊 一九八六—九一年
- 『康熙 大清會典』 康熙二十九年 台北 文海出版社影印本 一九二—九三年
- 『雍正 大清會典』 雍正十一年 台北 文海出版社影印本 一九九四年
- 『光緒 大清會典』『光緒 大清會典事例』『光緒 大清會典圖』 光緒二十五年 北京 中華書局影印本 一九九一年
- 謝道承等纂修『福建通志』 乾隆二年 江蘇広陵古籍刻印本 一九八九年 (『乾隆 福建通志』)
- 魯曾煜等纂修『福州府志』 乾隆十九年 台北 成文出版社 中国方志叢書七十二号 一九六七年 (『乾隆 福州府志』)
- 陳寿祺等纂修『福建通志』 同治十年 台北 華文書局 中国省志彙編之九 一九六八年 (『同治 福建通志』)
- 徐葆光『中山伝信録』 康熙六十年 台湾文献叢刊第三〇六種 一九七二年
- 中川忠英『清俗紀聞』 平凡社 東洋文庫 一九六六年

茅元儀『武備志』 天啓元年 寛文四年〔一六六四〕 和刻本影印

汲古書院 一九七四年

『朝鮮王朝実録』 韓國国史編纂委員会 一九五五—五八年 太白山史
庫本

琉球国王・中国皇帝（清代）一覧表

琉球国中山王（第二尚氏王統）

代	王名	生没年	在位年代	系譜関係	冊封年・冊封使
1	尚 円	1415－1476	成化6(1470)－成化12(1476)		成化8(1472) 官榮・韓文
2	尚宣威	1430－1477	成化13(1477)	尚円の弟	
3	尚 真	1465－1526	成化13(1477)－嘉靖5(1526)	尚円の長子	成化15(1479) 董旻・張祥
4	尚 清	1497－1555	嘉靖6(1527)－嘉靖34(1555)	尚真の第5子	嘉靖13(1534) 陳侃・高澄
5	尚 元	1528－1572	嘉靖35(1556)－隆慶6(1572)	尚清の第2子	嘉靖41(1562) 郭汝霖・李際春
6	尚 永	1559－1588	万曆元(1573)－万曆16(1588)	尚元の第2子	万曆7(1579) 蕭崇業・謝杰
7	尚 寧	1564－1620	万曆17(1589)－泰昌元(1620)	尚真の玄孫	万曆34(1606) 夏子陽・王士禎
8	尚 豊	1590－1640	天啓元(1621)－崇禎13(1640)	尚元の孫	崇禎6(1633) 杜三策・楊掄
9	尚 賢	1625－1647	崇禎14(1641)－順治4(1647)	尚豊の第3子	
10	尚 質	1629－1668	順治5(1648)－康熙7(1668)	尚豊の第4子	康熙2(1663) 張学礼・王垓
11	尚 貞	1645－1709	康熙8(1669)－康熙48(1709)	尚質の長子	康熙22(1683) 汪楫・林麟焜
12	尚 益	1678－1712	康熙49(1710)－康熙51(1712)	尚貞の孫	
13	尚 敬	1700－1751	康熙52(1713)－乾隆16(1751)	尚益の長子	康熙58(1719) 海宝・徐葆光
14	尚 穆	1739－1794	乾隆17(1752)－乾隆59(1794)	尚敬の長子	乾隆21(1756) 全魁・周煌
15	尚 温	1784－1802	乾隆60(1795)－嘉慶7(1802)	尚穆の孫	嘉慶5(1800) 趙文楷・李鼎元
16	尚 成	1800－1803	嘉慶8(1803)	尚温の長子	
17	尚 灝	1787－1834	嘉慶9(1804)－道光14(1834)	尚穆の孫	嘉慶13(1808) 齊鲲・費錫章
18	尚 育	1813－1847	道光15(1835)－道光27(1847)	尚灝の長子	道光18(1838) 林鴻年・高人鑑
19	尚 泰	1834－1901	道光28(1848)－同治11(1872)	尚育の第2子	同治5(1866) 趙新・于光甲

中国皇帝（清代）一覧表

代	廟号 通称	諱 (諡)	生没年	在位年代	系譜関係
1	太祖	ヌルハチ (高皇帝)	1559－1626	天命元(1616)－天命11(1626)	(愛新覺羅氏)
2	太宗	ホンタイジ (文皇帝)	1592－1643	天命11(1626)－崇徳8(1643)	ヌルハチの第8子
3	世祖 順治帝	福臨 (章皇帝)	1638－1661	崇徳8(1643)－順治18(1661)	ホンタイジの第9子
4	聖祖 康熙帝	玄燁 (仁皇帝)	1654－1722	順治18(1661)－康熙61(1722)	順治帝の第3子
5	世宗 雍正帝	胤禛 (憲皇帝)	1678－1735	康熙61(1722)－雍正13(1735)	康熙帝の第4子
6	高宗 乾隆帝	弘曆 (純皇帝)	1711－1799	雍正13(1735)－乾隆60(1795)	雍正帝の第4子
7	仁宗 嘉慶帝	顥琰 (睿皇帝)	1760－1820	嘉慶元(1796)－嘉慶25(1820)	乾隆帝の第15子
8	宣宗 道光帝	旻寧 (成皇帝)	1782－1850	嘉慶25(1820)－道光30(1850)	嘉慶帝の第2子
9	文宗 咸豊帝	奕訢 (顯皇帝)	1831－1861	道光30(1850)－咸豊11(1861)	道光帝の第4子
10	穆宗 同治帝	載淳 (毅皇帝)	1856－1875	咸豊11(1861)－同治13(1874)	咸豊帝の長子
11	徳宗 光緒帝	載湉 (景皇帝)	1871－1908	同治13(1874)－光緒34(1908)	道光帝の孫
12	宣統帝	溥儀	1906－1967	光緒34(1908)－宣統3(1911)	光緒帝の甥

歴代宝案 訳注本 第三冊

目次

教育長挨拶

凡例

参考文献

琉球国王・中国皇帝（清代）一覧表

目次

第二集

督抄宝案記

目録 上（康熙三十六年～嘉慶十八年）

目録 下（嘉慶十九年～咸豊八年）

卷一（康熙三十六年～康熙三十九年）

二一〇一〇一 国王尚貞より福建布政使司あて、赴京の使臣の接回を請い、朝鮮の漂流民を送還する咨

（一六九七、一〇、二七・康熙三十六年）

二一〇一〇二 国王尚貞の、赴京の使臣の接回のため都通事魏士哲等を遣わすむねの執照（一六九七、一〇、二七）

二一〇一〇三 皇帝より国王尚貞へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録（一六九七、九、二二）

二一〇一〇四	礼部より国王尚貞あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨（二六九七、九、二三）	124
二一〇一〇五	福建布政使司より国王尚貞あて、進貢使を接貢船で帰国させること、 及び接貢船に附搭して福建へ送った朝鮮人漂流民の処置についての咨（二六九八、五、一四・康熙三十七年）	125
二一〇一〇六	国王尚貞の、進貢の表（一六九八、一〇、二〇）	130
二一〇一〇七	国王尚貞より礼部あて、進貢の咨（二六九八、一〇、二〇）	132
二一〇一〇八	国王尚貞より福建布政使司あて、進貢の咨（二六九八、一〇、二〇）	132
二一〇一〇九	国王尚貞の、進貢のため耳目官毛龍図等を遣わすむねの符文（二六九八、一〇、二〇）	133
二一〇一一〇	国王尚貞の、進貢のため耳目官毛龍図等を遣わすむねの執照（二六九八、一〇、二〇）	134
二一〇一一一	国王尚貞の、進貢のため都通事毛文善等を遣わすむねの執照（二六九八、一〇、二〇）	135
二一〇一一二	福建布政使司より国王尚貞あて、進貢の受け入れと員役の摘回を知らせる咨（二六九九、六、一八・康熙三十八年）	136
二一〇一一三	国王尚貞より福建布政使司あて、赴京の使臣の接回を請う咨（二六九九、一〇、九）	138
二一〇一一四	国王尚貞の、赴京の使臣の接回のため都通事鄭士綸等を遣わすむねの執照（二六九九、一〇、九）	139
二一〇一一五	皇帝より国王尚貞へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目錄（二六九九、九、一七）	140
二一〇一一六	礼部より国王尚貞あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨（二六九九、九、一九）	141
二一〇一一七	福建布政使司より国王尚貞あて、進貢使を接貢船で帰国させるむねの咨（二七〇〇、五、一三・康熙三十九年）	141
二一〇一一八	国王尚貞の、進貢の表（一七〇〇、一〇、二六）	144
二一〇一一九	国王尚貞より礼部あて、進貢の咨（一七〇〇、一〇、二六）	145
二一〇一二〇	国王尚貞より福建布政使司あて、進貢の咨（一七〇〇、一〇、二六）	145
二一〇一二一	国王尚貞の、進貢のため耳目官毛得範等を遣わすむねの符文（二七〇〇、一〇、二六）	146
二一〇一二二	国王尚貞の、進貢のため耳目官毛得範等を遣わすむねの執照（二七〇〇、一〇、二六）	147
二一〇一二三	国王尚貞の、進貢のため都通事毛文哲等を遣わすむねの執照（二七〇〇、一〇、二六）	148

卷二(康熙四十年〜康熙四十二年)

二一〇二一〇一 国王尚貞より福建布政使司あて、漂流中国人護送のため都通事鄭士綸等を遣わすむねの咨

(一七〇一、四、一・康熙四十年)

二一〇二一〇二 国王尚貞の、漂流中国人護送のため都通事鄭士綸等を遣わすむねの執照(一七〇一、四、一〇)

二一〇二一〇三 福建布政使司より国王尚貞あて、進貢の受け入れと員役の摘回を知らせる咨(一七〇一、五、二五)

二一〇二一〇四 国王尚貞より福建布政使司あて、赴京の使臣の接回を請う咨(一七〇一、一〇、一五)

二一〇二一〇五 国王尚貞の、赴京の使臣の接回のため都通事梁成楫等を遣わすむねの執照(一七〇一、一〇、一五)

二一〇二一〇六 国王尚貞の、進貢の表(一七〇二、一〇、八・康熙四十一年)

二一〇二一〇七 国王尚貞より礼部あて、進貢の咨(一七〇二、一〇、八)

二一〇二一〇八 国王尚貞より福建布政使司あて、進貢し、あわせて昨年派遣した船の速やかな摘回を請う咨(一七〇二、一〇、八)

二一〇二一〇九 国王尚貞の、進貢のため耳目官毛興龍等を遣わすむねの符文(一七〇二、一〇、八)

二一〇二一一〇 国王尚貞の、進貢のため耳目官毛興龍等を遣わすむねの執照(一七〇二、一〇、八)

二一〇二一一一 国王尚貞の、進貢のため都通事毛文善等を遣わすむねの執照(一七〇二、一〇、八)

二一〇二一一二 礼部より国王尚貞あて、琉球の貢使の従者が浙江に漂着したむねを知らせる咨(一七〇二、九、一八)

二一〇二一一三 福建布政使司より国王尚貞あて、進貢の受け入れと、員役の摘回を知らせ、

あわせて浙江へ漂流した二人の水夫を附搭して帰国させるむねの咨(一七〇三、五、一六・康熙四十二年)

二一〇二一一四 国王尚貞より福建布政使司あて、赴京の使臣の接回を請い、漂流した水夫の救恤を謝する咨(一七〇三、一〇、二八)

二一〇二一一五 国王尚貞の、赴京の使臣の接回のため都通事金溥等を遣わすむねの執照(一七〇三、一〇、二八)

卷三(康熙四十二年〜康熙四十四年)

二一〇三二〇一 皇帝より国王尚貞へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録(一七〇三、一〇、八)

二一〇三二〇二 礼部より国王尚貞あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜い、

二一〇三二〇三 福建布政使司より国王尚貞あて、進貢使を接貢船で帰国させること、
また先年漂流の難民二人は既に福建より出港したむねを知らせる咨（二七〇三、一〇、一〇）… 177

及び従者による毆死事件についての咨（二七〇四、六、一六・康熙四十三年）…

二一〇三二〇四 国王尚貞の、進貢の表（一七〇四、一〇、一一）… 182

二一〇三二〇五 国王尚貞より礼部あて、進貢の咨（二七〇四、一〇、一一）… 183

二一〇三二〇六 国王尚貞より福建布政使司あて、進貢の咨（二七〇四、一〇、一一）… 183

二一〇三二〇七 国王尚貞の、進貢のため耳目官温開榮等を遣わすむねの符文（二七〇四、一〇、一一）… 184

二一〇三二〇八 国王尚貞の、進貢のため耳目官温開榮等を遣わすむねの執照（二七〇四、一〇、一一）… 185

二一〇三二〇九 国王尚貞の、進貢のため都通事阮維徳等を遣わすむねの執照（二七〇四、一〇、一一）… 186

二一〇三二一〇 福建布政使司より国王尚貞あて、進貢の受け入れと、員役の摘回を礼部の部覆を待たずに行うむね知らせる咨
（二七〇五、六、一三・康熙四十四年）… 187

二一〇三二一一 国王尚貞より福建布政使司あて、赴京の使臣の接回を請う咨（二七〇五、一〇、一九）… 192

二一〇三二一二 国王尚貞の、赴京の使臣の接回のため都通事陳其湘等を遣わすむねの執照（二七〇五、一〇、一九）… 193

卷四（康熙四十四年～康熙四十七年）

二一〇四一〇一 皇帝より国王尚貞へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録（二七〇五、一一、□）… 195

二一〇四一〇二 礼部より国王尚貞あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨（二七〇五、一一、一五）… 195

二一〇四一〇三 福建布政使司より国王尚貞あて、進貢使を接貢船で帰国させるむねの咨（二七〇六、六、三・康熙四十五年）… 195

二一〇四一〇四 国王尚貞の、進貢の表（一七〇六、九、□）… 197

二一〇四一〇五 国王尚貞より礼部あて、進貢の咨（二七〇六、九、□）… 198

二一〇四一〇六 国王尚貞より福建布政使司あて、進貢のこと、漂流民を送還することの咨（二七〇六、九、□）… 199

二一〇四一〇七 国王尚貞の、進貢のため耳目官馬元勲等を遣わすむねの符文（二七〇六、九、□）… 200

二一〇四一〇八	国王尚貞の、進貢のため耳目官馬元勲等を遣わすむねの執照（二七〇六、九、□）	201
二一〇四一〇九	国王尚貞の、進貢のため都通事陳其瀾等を遣わすむねの執照（二七〇六、九、□）	202
二一〇四一一〇	福建布政使司より国王尚貞あて、進貢を受け入れたこと、漂流民を本籍に落ち着かせることの咨（二七〇七、七、三・康熙四十六年）	203
二一〇四一一一	国王尚貞より福建布政使司あて、進貢使の接回を請う咨（二七〇七）	207
二一〇四一二二	国王尚貞の、赴京の使臣の接回のため都通事阮維新等を遣わすむねの執照（二七〇七）	208
二一〇四一二三	皇帝より国王尚貞へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目錄（二七〇七、一一、三）	209
二一〇四一二四	礼部より国王尚貞あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨（二七〇七、一二、四）	209
二一〇四一二五	福建布政使司より国王尚貞あて、進貢使を接貢船で帰国させるむねの咨（二七〇八、五、一六・康熙四十七年）	210
二一〇四一二六	国王尚貞の、進貢の表（二七〇八、一〇、□）	212
二一〇四一二七	国王尚貞より礼部あて、進貢の咨（二七〇八、一〇、□）	213
二一〇四一二八	国王尚貞より福建布政使司あて、進貢の咨（二七〇八、一〇、□）	213
二一〇四一二九	国王尚貞の、進貢のため耳目官向英等を遣わすむねの符文（二七〇八、一〇、□）	214
二一〇四二一〇	国王尚貞の、進貢のため耳目官向英等を遣わすむねの執照（二七〇八、一〇、□）	215
二一〇四二一一	国王尚貞の、進貢のため都通事曾曆等を遣わすむねの執照（二七〇八、一〇、□）	216
卷五（康熙四十八年～康熙四十九年）		
二一〇五〇〇一	世孫尚益より福建布政使司あて、進貢使の接回を請い、進貢船二隻の帰途における遭難を知らせる咨（二七〇九、一一、七・康熙四十八年）	217
二一〇五〇〇二	世孫尚益より福建布政使司あて、国王尚貞と世子尚純の死去を知らせる咨（二七〇九、一一、七）	218
二一〇五〇〇三	世孫尚益の、赴京の使臣の接回のため都通事蔡文漢等を遣わすむねの執照（二七〇九、一〇、□）	219
二一〇五〇〇四	皇帝より国王尚貞へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目錄（二七〇九、一一、一五）	220

二一〇五〇五	礼部より国王尚貞あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨(二七〇九、一一、一七) ……………	220
二一〇五〇六	礼部より国王尚貞あて、琉球の漂流民を接貢船で帰国させるむねの咨(二七〇九、一一、一七) ……………	221
二一〇五〇七	福建布政使司より世孫尚益あて、進貢使と報喪使と漂流民を接貢船で帰国させるむねの咨 (二七二〇、六、八・康熙四十九年) ……………	221
二一〇五〇八	福建布政使司より世孫尚益あて、康熙五十年の曆書を頒布するむねの咨(二七二〇、一二、一九) ……………	224
二一〇五〇九	福建布政使司より世孫尚益あて、国王尚貞と世子尚純の死去の報を受けたこと、報喪使を帰国させることの咨 (二七二〇、六、八) ……………	225
二一〇五一〇	世孫尚益の、進貢の表(二七一〇、一〇、□) ……………	228
二一〇五一一	世孫尚益より礼部あて、進貢の咨(二七一〇、一〇、□) ……………	229
二一〇五一二	世孫尚益より福建布政使司あて、進貢の咨(二七一〇、一〇、□) ……………	229
二一〇五一三	世孫尚益より福建布政使司あて、漂流民の送還を謝する咨(二七一〇、一〇、□) ……………	230
二一〇五一四	世孫尚益の、進貢のため耳目官孟命時等を遣わすむねの符文(二七一〇、一〇、□) ……………	230
二一〇五一五	世孫尚益の、進貢のため耳目官孟命時等を遣わすむねの執照(二七一〇、一〇、□) ……………	231
二一〇五一六	世孫尚益の、進貢のため都通事蔡燠等を遣わすむねの執照(二七一〇、一〇、□) ……………	232
卷六(康熙五十年～康熙五十二年)		
二一〇六〇一	福建布政使司より世孫尚益あて、進貢を受け入れたこと、摘回の員役を帰国させることの咨 (二七二一、五、二九・康熙五十年) ……………	233
二一〇六〇二	世孫尚益より福建布政使司あて、進貢使の接回を請う咨(二七二一、一〇、二四) ……………	235
二一〇六〇三	世孫尚益より福建布政使司あて、康熙五十年の曆書を奉ずるむねの咨(二七二一、一〇、□) ……………	236
二一〇六〇四	世孫尚益の、赴京の使臣の接回のため都通事魏鸞等を遣わすむねの執照(二七二一、一〇) ……………	237
二一〇六〇五	皇帝より世孫尚益へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録(二七二一、一一、二五) ……………	237

- 二一〇六一六 礼部より世孫尚益あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨(一七二一、一一、二六) …… 238
- 二一〇六一七 福建布政使司より世孫尚益あて、進貢使を接貢船で帰国させるむねの咨(一七二二、七、二五・康熙五十一年) …… 238
- 二一〇六一八 世曾孫尚敬の、進貢の表(一七二二、一一、六) …… 240
- 二一〇六一九 世曾孫尚敬より礼部あて、進貢の咨(一七二二、一一、六) …… 241
- 二一〇六二〇 世曾孫尚敬より福建布政使司あて、進貢の咨(一七二二、一一、六) …… 241
- 二一〇六一一 世曾孫尚敬より福建布政使司あて、世孫尚益の死去を知らせる咨(一七二二、一一、六) …… 242
- 二一〇六一二 世曾孫尚敬の、進貢のため耳目官毛九経等を遣わすむねの符文(一七二二、□、□) …… 243
- 二一〇六一三 世曾孫尚敬の、進貢のため耳目官毛九経等を遣わすむねの執照(一七二二、□、□) …… 244
- 二一〇六一四 世曾孫尚敬の、進貢のため正義大夫楊聯桂等を遣わすむねの執照(一七二二、□、□) …… 245
- 二一〇六一五 福建布政使李発甲より世曾孫尚敬あて、五十年の接貢船は既に帰国したこと、漂流民を送還すること、進貢使蔡灼が死去したこと、礼部の通知を待たず摘回の員役を帰国させることの咨(一七二三、七、三・康熙五十二年) …… 246
- 二一〇六一六 署理福建布政使司事劉涵より世曾孫尚敬あて、康熙五十二年の曆書を頒布するむねの咨(一七二二、一〇、一八) …… 252
- 二一〇六一七 福建布政使李発甲より世曾孫尚敬あて、規礼銀を返却する咨(一七二三、六、一六) …… 253
- 二一〇六一八 福建布政使李発甲より世曾孫尚敬あて、糧駅道あての規礼銀を返却する咨(一七二三、六、一七) …… 255
- 二一〇六一九 福建布政使李発甲より世曾孫尚敬あて、世孫尚益の死去の報を受けたこと、報喪使を帰国させることの咨(一七二三、七、三) …… 256
- 二一〇六二〇 世曾孫尚敬より福建布政使司あて、進貢使の接回を請うこと、五十年の接貢船が帰国したこと、漂流民の送還と蔡灼への恩恤を謝することの咨(一七二三、一一、九) …… 258
- 二一〇六一一 世曾孫尚敬より福建布政使司あて、康熙五十一年・五十二年の曆書を奉ずるむねの咨(一七二三、一一、九) …… 259
- 二一〇六一二 世曾孫尚敬より福建布政使司あて、返却された規礼銀を受領したむねの咨(一七二三、一一、九) …… 260
- 二一〇六一三 世曾孫尚敬の、赴京の使臣の接回のため都通事梁承寔等を遣わすむねの執照(一七二三、一一、九) …… 261

二一〇八一〇二	礼部より世曾孫尚敬あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨（一七二五、一一、二九）	281
二一〇八一〇三	礼部より世曾孫尚敬あて、漂着の琉球人を福建に送り、帰国を待機させるむねの咨（一七二五、八、一）	282
二一〇八一〇四	福建布政使司より世曾孫尚敬あて、漂流の朝鮮国人を受け入れ、また接貢船を帰国させるむねの咨 （二七二六、五、二八・康熙五十五年）	283
二一〇八一〇五	福建布政使司より（世曾孫）尚敬あて、康熙五十五年の曆書を頒布するむねの咨（一七二五、一二、七）	287
二一〇八一〇六	世曾孫尚敬の、進貢の表（一七二六、一〇、一一）	288
二一〇八一〇七	世曾孫尚敬の、請封の表（一七二六、一〇、一一）	289
二一〇八一〇八	世曾孫尚敬の、請封の奏（一七二六、一〇、一一）	290
二一〇八一〇九	世曾孫尚敬より礼部あて、進貢の咨（一七二六、一〇、一一）	291
二一〇八一〇〇	世曾孫尚敬より礼部あて、請封の咨（一七二六、一〇、一一）	291
二一〇八一〇一	中山王府の法司官翁自道等より礼部あて、世曾孫尚敬の襲封を請うむねの結状（一七二六、一〇、一一）	292
二一〇八一〇二	中山王府の法司官翁自道等より福建布政使司あて、世曾孫尚敬の襲封を請うむねの結状（一七二六、一〇、一一）	295
二一〇八一〇三	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、進貢の咨（一七二六、一〇、一一）	298
二一〇八一〇四	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、請封の咨（一七二六、一〇、一七）	299
二一〇八一〇五	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、康熙五十五年の曆書を奉ずるむねの咨（一七二六、一〇、一一）	299
二一〇八一〇六	世曾孫尚敬の、進貢し封を請うため耳目官夏執中等を遣わすむねの符文（一七二六、一〇、一一）	300
二一〇八一〇七	世曾孫尚敬の、進貢し封を請うため耳目官夏執中等を遣わすむねの執照（一七二六、一〇、一一）	301
二一〇八一〇八	世曾孫尚敬の、進貢し封を請うため都通事梁承寔等を遣わすむねの執照（一七二六、一〇、一一）	302

卷九（康熙五十六年～康熙五十七年）

二一〇九一〇一 福建布政使司より世曾孫尚敬あて、進貢使の受け入れと尚敬の請封に関するむねの咨

（二七二七、六、一五・康熙五十六年）
303

二一〇九一〇二	福建布政使司より(世曾孫)尚敬あて、康熙五十六年の曆書を頒布するむねの咨(二七一六、一二、二二)……………	307
二一〇九一〇三	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、接貢船を派遣するむねの咨(二七一七、一〇、八)……………	308
二一〇九一〇四	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、康熙五十六年の曆書を奉ずるむねの咨(二七一七、一〇、八)……………	308
二一〇九一〇五	世曾孫尚敬の、赴京の使臣の接回のため都通事鄭廷極等を遣わすむねの執照(二七一七、一〇、八)……………	309
二一〇九一〇六	皇帝より世曾孫尚敬へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録(二七一八、三、□・康熙五十七年)……………	310
二一〇九一〇七	礼部より世曾孫尚敬あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨(二七一八、三、二七)……………	310
二一〇九一〇八	礼部より世曾孫尚敬あて、尚敬を琉球国中山王に封じ、また先王に恤を賜うむねの咨(二七一八、三、一〇)……………	311
二一〇九一〇九	礼部より世曾孫尚敬あて、尚敬を琉球国中山王に封ずるむねの咨(二七一八、三、二七)……………	314
二一〇九一一〇	福建布政使司より世曾孫尚敬あて、進貢使を入京させ賞賜し、また接貢船にて帰国させるむねの咨 (二七一八、七、一〇)……………	315
二一〇九一一一	福建布政使司より(世曾孫)尚敬あて、康熙五十七年の曆書を頒布するむねの咨(二七一七、一二、四)……………	319
二一〇九一一二	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、漂着の浙江省寧波府定海鎮の官兵を送還するむねの咨(二七一八、九、□)……………	320
二一〇九一一三	世曾孫尚敬の、漂流の兵士を送還するため都通事毛士達等を遣わすむねの執照(二七一八、九、□カ)……………	323
二一〇九一一四	世曾孫尚敬の、進貢の表(二七一八、九、一七)……………	325
二一〇九一一五	世曾孫尚敬より礼部あて、進貢の咨(二七一八、九、一七)……………	325
二一〇九一一六	世曾孫尚敬より冊封使あて、冊封使を迎接するむねの咨(二七一八、九、一七)……………	326
二一〇九一一七	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、進貢の咨(二七一八、九、一七)……………	326
二一〇九一一八	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、冊封使を迎接するむねの咨(二七一八、九、一七)……………	327
二一〇九一一九	世曾孫尚敬より福建布政使司あて、康熙五十七年の曆書を奉ずるむねの咨(二七一八、九、一七)……………	327
二一〇九一二〇	世曾孫尚敬の、進貢し、また冊封使を迎接するため、耳目官向秉乾等を遣わすむねの符文(二七一八、九、一七)……………	328
二一〇九一二一	世曾孫尚敬の、進貢し、また冊封使を迎接するため、耳目官向秉乾等を遣わすむねの執照(二七一八、九、一七)……………	329
二一〇九一二二	世曾孫尚敬の、進貢し、また冊封使を迎接するため、正議大夫陳其湘等を遣わすむねの執照(二七一八、九、一七)……………	330

卷一〇（康熙五十八年）

二一〇〇一	福建布政使司より世曾孫尚敬あて、送還の兵士を受け入れ、また護送の官員等に賞賜するむねの咨	(二七一九、四、二四・康熙五十八年) ……	333
二一〇〇二	皇帝より世曾孫尚敬へ、琉球国中山王に封ずる勅諭と頒賜の目録(二七一八、八、□) ……	……	337
二一〇〇三	皇帝の、世曾孫尚敬を琉球国中山王に封する詔(一七一八、八、□) ……	……	338
二一〇〇四	福建布政使司より世曾孫尚敬あて、進貢使を受け入れ、また冊封船を帰還の進貢船とともに出発させるむねの咨	(二七一九、五、一〇) ……	339
二一〇〇五	国王尚敬の、冊封を謝して進貢する表(一七一九、一一、二二) ……	……	343
二一〇〇六	国王尚敬の、冊封を謝して進貢する奏(一七一九、一一、二二) ……	……	345
二一〇〇七	国王尚敬の、冊封使の労苦を謝して宴金を収受させることを請う奏(二七一九、一一、二二) ……	……	345
二一〇〇八	国王尚敬の、冊封使の労苦を謝して宴金を収受させることを請う奏(二七一九、一一、二二) ……	……	347
二一〇〇九	国王尚敬より礼部あて、冊封を謝して進貢するむねの咨(一七一九、一一、二二) ……	……	348
二一〇一〇	国王尚敬より福建布政使司あて、冊封を謝して進貢するむねの咨(二七一九、一一、二二) ……	……	349
二一〇一一	国王尚敬より福建布政使司あて、康熙五十八年の曆書を奉ずるむねの咨(二七一九、一一、二二) ……	……	350
二一〇一二	国王尚敬の、冊封を謝して進貢するため王舅向龍翼等を遣わすむねの符文(二七一九、一一、二二) ……	……	351
二一〇一三	国王尚敬の、冊封を謝して進貢するため王舅向龍翼等を遣わすむねの執照(二七一九、一一、二二) ……	……	352
二一〇一四	国王尚敬の、冊封使の帰国を護送するため都通事鄭士紳等を遣わすむねの執照(二七一九、一一、二二) ……	……	353
二一〇一五	国王尚敬の、冊封使の随行員を謝恩船にて帰国させるため存留通事蔡用弼等に付した執照(二七一九、二、二二) ……	……	353
卷一一（康熙五十八年～康熙六十年）			
二一一〇一	皇帝より国王尚敬へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録(一七一九、一二、二二) ……	……	355
二一一〇二	礼部より国王尚敬あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨(一七一九、一二、二〇) ……	……	355

二二一〇三	福建布政使司より国王尚敬あて、冊封謝恩の進貢の受け入れ、および前回の貢使の正議大夫楊聯桂の客死、	貿易の完了等を知らせる咨（二七二〇、六、一二・康熙五十九年）	356
二二一〇四	福建布政使司より国王尚敬あて、康熙五十九年の曆書を頒布するむねの咨（二七二〇、三、九）	……	359
二二一〇五	国王尚敬の、進貢の表（一七二〇、九、二七）	……	359
二二一〇六	国王尚敬より礼部あて、進貢のため耳目官毛廷輔らを派遣する咨（二七二〇、九、二七）	……	360
二二一〇七	国王尚敬より福建布政使司あて、進貢のため耳目官毛廷輔らを派遣する咨（二七二〇、九、二七）	……	361
二二一〇八	国王尚敬の、進貢のため耳目官毛廷輔等を遣わすむねの符文（二七二〇、九、二七）	……	361
二二一〇九	国王尚敬の、進貢のため耳目官毛廷輔等を遣わすむねの執照（二七二〇、九、二七）	……	362
二二一一〇	国王尚敬の、進貢のため都通事金震等を遣わすむねの執照（二七二〇、九、二七）	……	363
二二一一一	皇帝より国王尚敬へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目錄（一七二〇、一〇、二〇）	……	364
二二一二	礼部より国王尚敬あて、貢物の受領と賞賜の勅諭を賜うむねの咨（二七二〇、一〇、二〇）	……	364
二二一三	礼部より国王尚敬あて、宴金は旧礼により冊封使に收受させるむねの咨（二七二〇、一〇、二〇）	……	365
二二一四	礼部より国王尚敬あて、冊封使の代請した子弟の国子監入学の許可を知らせる咨（二七二〇、一〇、二〇）	……	366
二二一五	福建布政使司より国王尚敬あて、進貢の受け入れと貿易の完了を知らせる咨（二七二二、五、二四・康熙六十年）	……	367
二二一六	福建布政使司より国王尚敬あて、康熙六十年の曆書を頒布するむねの咨（二七二〇、一二、二〇）	……	369
二二一七	福建布政使司より国王尚敬あて、台湾に漂着した琉球人四名を送還する咨（二七二二、五、二四）	……	369
二二一八	国王尚敬より福建布政使司あて、接回のため都通事楊宗易らを派遣する咨（二七二二、一〇、一〇）	……	372
二二一九	国王尚敬より福建布政使司あて、康熙六十年の曆書を奉ずるむねの咨（二七二二、一〇、一〇）	……	373
二二二〇	国王尚敬より福建布政使司あて、漂流民の送還を謝する咨（二七二二、一〇、一〇）	……	374
二二二二	国王尚敬の、赴京の使臣の接回のため都通事楊宗易等を遣わすむねの執照（二七二二、一〇、一〇）	……	376

卷二二（康熙六十年～康熙六十一年）

二二二二〇一	皇帝より国王尚敬あて、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録（一七二二、一二、□）	379
二二二二〇二	礼部より国王尚敬あて、進貢に対する賞賜は安南国に倣い加賞するむねの咨（一七二二、一二、二〇）	379
二二二二〇三	礼部より国王尚敬あて、表文と方物の受領を知らせる咨（一七二二、一二、二〇）	381
二二二二〇四	福建布政使司より国王尚敬あて、進貢使を接貢船で帰国させるむねの咨（一七二二、六、一四・康熙六十一年）	381
二二二二〇五	福建布政使司より国王尚敬あて、康熙六十一年の曆書を頒布するむねの咨（一七二二、一二、二〇）	385
二二二二〇六	国王尚敬の、進貢の表（一七二二、一一、三・康熙六十一年）	385
二二二二〇七	国王尚敬の、官生の太学入学を請う奏（一七二二、一一、三）	386
二二二二〇八	国王尚敬より礼部あて、賞賜の加増を謝するむねの咨（一七二二、一一、三）	387
二二二二〇九	国王尚敬より礼部あて、進貢の咨（一七二二、一一、三）	389
二二二二一〇	国王尚敬より礼部あて、官生の太学入学を請うむねの咨（一七二二、一一、三）	389
二二二二一一	国王尚敬より福建布政使司あて、賞賜の加増を謝する咨（一七二二、一一、三）	390
二二二二一二	国王尚敬より福建布政使司あて、進貢の咨（一七二二、一一、三）	392
二二二二一三	国王尚敬より福建布政使司あて、康熙六十一年の曆書を奉ずるむねの咨（一七二二、一一、三）	392
二二二二一四	国王尚敬より福建布政使司あて、官生の太学入学を請うむねの咨（一七二二、一一、三）	393
二二二二一五	国王尚敬の、進貢と入監する官生のため耳目官毛弘健等を遣わすむねの符文（一七二二、一一、三）	394
二二二二一六	国王尚敬の、進貢のため耳目官毛弘健等を遣わすむねの執照（一七二二、一一、三）	395
二二二二一七	国王尚敬の、進貢のため都通事紅士顯等を遣わすむねの執照（一七二二、一一、三）	396
二二二二一八	国王尚敬の、入監のため官生蔡用佐等を遣わすむねの執照（一七二二、一一、三）	396

卷二三（雍正元年）

二二二二一〇一	福建巡撫より国王尚敬あて、進貢の頭号船の沈没と二号船の処置及び頒賞についての咨
---------	---

二一三二〇二	福建布政使司より国王尚敬あて、進貢の頭号船の沈没と二号船の処置及び頒賞についての咨(一七二三、五、二〇) ……	(一七二三、五、一九・雍正元年) ……	399
二一三二〇三	福建布政使司より国王尚敬あて、雍正元年の曆書を頒布するむねの咨(一七二三、二、四) ……	…	401
二一三二〇四	福建布政使司より国王尚敬あて、進貢の頭号船の難破と遭難者の致祭、二号船の方物の処置などを知らせるむねの咨	(一七二三、五、二〇) ……	405
二一三二〇五	国王尚敬の、進貢の表(一七二三、一〇、九) ……	…	410
二一三二〇六	国王尚敬の、進香の表(一七二三、一〇、九) ……	…	411
二一三二〇七	国王尚敬の、雍正帝の即位を慶賀する奏(一七二三、一〇、九) ……	…	412
二一三二〇八	国王尚敬の、進香の奏(一七二三、一〇、九) ……	…	412
二一三二〇九	国王尚敬の、官生の国子監入学を請うむねの奏(一七二三、一〇、九) ……	…	413
二一三二一〇	国王尚敬より礼部あて、雍正帝の即位を慶賀するむねの咨(一七二三、一〇、九) ……	…	415
二一三二一一	国王尚敬より礼部あて、進香の咨(一七二三、一〇、九) ……	…	416
二一三二一二	国王尚敬より礼部あて、官生の国子監入学を請うむねの咨(一七二三、一〇、九) ……	…	416
二一三二一三	国王尚敬より福建布政使司あて、雍正帝の即位を慶賀するむねの咨(一七二三、一〇、九) ……	…	418
二一三二一四	国王尚敬より福建巡撫あて、進貢の頭号船の沈没と二号船の処置及び頒賞の知らせに対する返答の咨	(一七二三、一〇、九) ……	418
二一三二一五	国王尚敬より福建布政使司あて、進香の咨(一七二三、一〇、九) ……	…	421
二一三二一六	国王尚敬より福建布政使司あて、進貢の頭号船の沈没と二号船の処置及び頒賞などの知らせに対する返答の咨	(一七二三、一〇、九) ……	422
二一三二一七	国王尚敬より福建布政使司あて、雍正元年の曆書を奉ずるむねの咨(一七二三、一〇、九) ……	…	425
二一三二一八	国王尚敬より福建布政使司あて、進貢の頭号船の難破と遭難者の致祭、	二号船の方物の処置などの知らせに対する返答の咨(一七二三、一〇、九) ……	426

二二二二一九	国王尚敬より福建布政使司あて、官生の国子監入学を請うむねの咨(一七二三、一〇、九)	……	429
二二二二二〇	国王尚敬の、康熙帝の進香と雍正帝の即位慶賀のため王舅翁国柱等を遣わすむねの符文(一七二三、一〇、□)	……	431
二二二二二二	国王尚敬の、康熙帝の進香と雍正帝の即位慶賀のため王舅翁国柱等を遣わすむねの執照(一七二三、一〇、□)	……	432
二二二二二二	国王尚敬の、国子監入学のため官生鄭秉哲等を遣わすむねの執照(一七二三、一〇、□)	……	433

卷一四(雍正二年～雍正三年)

二二二四〇一	福建布政使司より国王尚敬あて、皇帝即位の慶賀使と官生を京に赴かせ礼物を京に送るほか、		
二二二四〇二	福建布政使司より国王尚敬あて、進香の表文・祭品を京に送るむねの咨(一七二四、五、一)	……	438
二二二四〇三	福建布政使司より国王尚敬あて、雍正二年の曆書を頒布するむねの咨(一七二三、一一、二〇)	……	440
二二二四〇四	国王尚敬の、進貢の表(一七二四、一〇、□)	……	440
二二二四〇五	国王尚敬より礼部あて、進貢の咨(一七二四、一〇、□)	……	441
二二二四〇六	国王尚敬より福建布政使司あて、進貢の咨(一七二四、一〇、□)	……	441
二二二四〇七	国王尚敬より福建布政使司あて、雍正二年の曆書を奉ずるむねの咨(一七二四、一〇、□)	……	442
二二二四〇八	国王尚敬の、進貢のため耳目官毛健元等を遣わすむねの符文(一七二四、一〇、□)	……	443
二二二四〇九	国王尚敬の、進貢のため耳目官毛健元等を遣わすむねの執照(一七二四、一〇、□)	……	443
二二二四一〇	国王尚敬の、進貢のため都通事蔡墉等を遣わすむねの執照(一七二四、一〇、□)	……	444
二二二四一一	皇帝より国王尚敬へ、入貢を嘉尚し頒賜する勅諭と目録(一七二四、一一、七)	……	445
二二二四一二	礼部より国王尚敬あて、即位慶賀の使者を召見し、御書の匾額ほかを賜わったむねの咨(一七二四、一一、二〇)	……	445
二二二四一三	礼部より国王尚敬あて、即位慶賀の表文を皇帝にたてまつり、礼物を受領したむねの咨(一七二四、一一、一〇)	……	447
二二二四一四	礼部より国王尚敬あて、進香の祭品などを受領したむねの咨(一七二四、一一、一七)	……	447
二二二四一五	礼部より国王尚敬あて、国王ならびに慶賀使に加賞するむねの咨(一七二四、一一、二〇)	……	448

二一四一六	礼部より国王尚敬あて、官生鄭秉哲・鄭謙を国子監に入学させ、死亡した蔡宏訓を埋葬したむねの咨	(一七二四、一一、一〇) ……	449
二一四一七	礼部より国王尚敬あて、死亡した蔡宏訓への恩賞を知らせる咨	(一七二四、一二、二〇) ……	450
二一四一八	礼部より国王尚敬あて、漂流民西馬不孤等二十三名、下里与等十六名を救恤し、次の進貢船で送還するむねの咨	(一七二四、九、八) ……	451
二一四一九	福建布政使秦国龍より国王尚敬あて、雍正二年の進貢を受け入れたこと、慶賀使への加賞のこと、 漂流民を送還すること、貿易を終えた進貢船を帰国させることの咨	(一七二五、五、二〇・雍正三年) ……	452
二一四二〇	福建布政使司より国王尚敬あて、雍正三年の曆書を頒布するむねの咨	(一七二四、一二、二〇) ……	456
二一四二一	福建布政使秦国龍より国王尚敬あて、三次にわたる漂流民、合計六十一名を送還するむねの咨	(一七二五、五、二〇) ……	456
二一四二二	福州清軍海防分府沈宗叙より琉球国長史司あて、御書の匾額の下賜についてあらかじめ知らせ、 奉迎に手落ちのないよう戒める故牒	(一七二五、三、一五) ……	459
二一四二三	国王尚敬の、謝恩の表	(一七二五、一一、二〇) ……	462
二一四二四	国王尚敬の、御書の匾額その他の特別の頒賜を謝する奏	(一七二五、一一、二〇) ……	463
二一四二五	国王尚敬より礼部あて、御書の匾額その他の頒賜を謝して遣使する咨	(一七二五、一一、二〇) ……	465
二一四二六	国王尚敬より礼部あて、加賞を謝する咨	(一七二五、一一、二〇) ……	466
二一四二七	国王尚敬より礼部あて、死亡した官生への恩賞を謝する咨	(一七二五、一一、二〇) ……	467
二一四二八	国王尚敬より福建布政使司あて、御書の匾額その他の頒賜を謝して遣使する咨	(一七二五、一一、二〇) ……	467
二一四二九	国王尚敬より福建布政使司あて、雍正三年の曆書を奉ずるむねの咨	(一七二五、一一、二〇) ……	468
二一四三〇	国王尚敬より福建布政使司あて、漂流民の送還を謝する咨	(一七二五、一一、二〇) ……	469
二一四三一	国王尚敬の、謝恩のため紫巾官向得功等を遣わすむねの符文	(一七二五、一一、二〇) ……	470
二一四三二	国王尚敬の、謝恩のため紫巾官向得功等を遣わすむねの執照	(一七二五、一一、二〇) ……	470

付録

○ 語注索引

・ 漢字検索のための総画数一覧

① 語句索引

② 人名・地名索引

492 479 473